

## 伝える言葉と心の言葉で会話は成り立っている

北京日本人学校長 細野 輝彦

以前、ある雑誌を読んでいたら、「敬語」について

「敬語なんてない方が、よほどさっぱりしている」という意見もありますが、ある面では同感です。というのは、敬語は、物事自身を表すのにあまり関係がありません。例えば、「私が参ります」と言っても、「俺が行く」と言っても、自分が行くことを表す内容は変わりません。「あなた、召し上がりますか」と言っても、「お前、食うか」と言っても、表される事柄は同じです。そういう点から考えると、煩わしい敬語がない方が、合理的で、言語生活が能率的に行くのではないか。

という意見が載っていました。

この意見に対して、「伝える言葉と心の言葉で会話は成り立っている」というある方の話が、日頃何気なく使っている敬語の奥深さに気付かせてくれたので紹介します。

「お茶を飲みなさい」と言われたときの返事は、「はい」ぐらいです。でも、「どうぞ茶をお召し上がれ」と言われれば、「ありがとうございます」というふうに、感謝の言葉が出てきますね。なにかそういう意味で、敬語というものの、ある必要性みたいなものを感じます。伝達だけだと、伝達の返事だけが戻ってきます。

知人のおばあちゃんが「うちの嫁は御飯をちゃんとしてくれるけど、まるで犬や猫にくれるみたいに出す」と言うんですね。それを聞いたとき、このお嫁さんは、「おばあちゃん、御飯です」とか、「できました」とだけ言うのだと思います。「お待ちせしました」とか、「遅くなりました」とか、「ちょっと冷たいですけど」とか、心の言葉を添えることができれば、そのおばあちゃんはきっと犬や猫にくれるみたいには思わなかったでしょう。

敬語とは、結局、心に余裕がないと「心の言葉」を遣えないものではないかと、改めて気付くことができました。2学期も半分が過ぎました。いろいろな行事やその準備等で、児童生徒たちも忙(いそが・せわ)しく学校生活を過ごしているかもしれません。心に余裕をもち「心の言葉」を遣った教育活動を推進していきます。引き続きご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

		<h3>おたがいさま</h3> <p>相手を敬う とてもいい言い方</p>
--	--	---

家の人と学校での出来事についてよく話す児童生徒は、全国学力学習状況調査の結果が高い傾向にあります。これらの写真は、2学期の始業式や全校集会の校長講話で見せたスライドの一部です。どんな話だったのか、ぜひご家庭で話題にいただけると嬉しいです。

## 実りのある 小5 宿泊学習

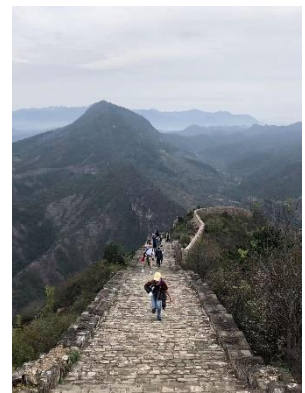
9月23日～24日に、宿泊学習に行ってきました。  
1日目は、香山を登山し、北京外国語大学の大学生と交流しました。2日目は、文化モノづくり体験、科学技術体験をしました。1か月間の事前学習、体力づくりを終え、待ちに待った宿泊学習。「ルールを守って責任感をもち、冷静に団体に楽しく行動しよう」の全体目標を基に、係活動、友達との関わり方、公共でのルールやマナーを常に意識しながら活動することができました。一人一人が成長し、集団としてもレベルアップした宿泊学習となりました。  
(小学部5年)



## 中2小6 合同修学旅行

10月13日～15日で二泊三日の中2小6 合同修学旅行に行ってきました。1日目は、明の十三陵で皇帝のお墓を見学した後、古北水鎮で切り絵体験をしました。2日目は、司馬台長城に登ったり、小グループに分かれてフィールドワークビンゴをしたりしました。3日目は、りんご狩り体験をしました。3日間の修学旅行は、本当にあっという間でした。出発式では校長先生から、「気付く力」を身に付けるというお話がありました。それを受け、様々な場面で、友達や周りの様子に**気付き**、思い遣る姿が見られ、子どもたちの成長を感じました。また、友達の新たな一面を知るなど、より深い友情を育む機会になったのではないかと思います。

まだまだ予断を許さない状況下ではありますが、子供たちと一生に一度の思い出に残るであろう修学旅行に行かせていただきありがとうございました。



## 事務局のまど

昨日(10月23日)に区教委から緊急の指示があり、今後校外学習や校内での集を伴う行事について、取消しもしくはやり方を変えて対応することになりました。このような指示はいつも突然で、昨年2月のコロナ疫開始直後の休校指示や、今年1月の登校停止指示が出た瞬間を思い出すたび、恐怖に駆られます。毎回、有無を言わず言い渡され、実際の施行に際し、理解を求めるといふうではありません。やはりここは日本ではないのだな、と思わされる冷たい何かを突き付けられる感覚です。このあとどうなるのかと考えだして、どっぴり陰鬱な気分になりそうになった私を救ったのは、「安全のためだから仕方ないよ」という友人のひとことでした。そう言われてみれば、感染が散發している最近の状況で、何もしないでいることはできないし、極端なように見える措置も、この国でこれまで感染防止のために効果があったやり方ではなかったか? 悲観的になるのをやめて、私は、できることをやるしかない、と考えるようにしましたよ。



## ただいま 何人?

小学部

中学部

1年	32	1年	21
2年	23	2年	12
3年	33	3年	13
4年	27	中合計	46
5年	21		
6年	20		
小合計	156	総合計	202

※令和3年10月29日現在